

65歳以上のインフルエンザ予防接種がはじまります

インフルエンザは、一般的なかぜと違い、いきなり高い熱が出て、頭痛、関節痛、筋肉痛などを伴い、強い全身倦怠感に襲われ、気管支炎、肺炎などの合併症をおこし重症化しやすいのが特徴です。特に65歳以上の高齢者や慢性疾患患者で死亡率が高くなるという点でも一般的なかぜとは異なります。早めに予防接種を受けて予防しましょう。

▶と き 10月1日(月)～12月31日(月)

▶実施機関 市内指定医療機関（下表参照） ※直接医療機関に予約してください。

▶対 象 接種日において65歳以上の市民

※対象者には9月下旬に予診票兼接種券を同封して通知します。対象者で通知の届かない人、健康手帳がない人は、保健センターにお問合せください。

※60歳以上65歳未満の市民で、心臓、腎臓、または呼吸器の機能に、自己の身の日常生活活動が極度に制限される程度の障がいや有する人、および、ヒト免疫不全ウイルスにより免疫の機能に日常生活がほとんど不可能な程度の障がいや有する人は、対象になる場合があります。

▶持 ち 物 予診票兼接種券、健康保険証、健康手帳（保健センターで発行します。）

▶費 用 1,000円

※費用免除を希望する市民税非課税世帯または生活保護世帯の人は、接種前に保健センターへ申請が必要です。接種後に申請しても返金はできませんので、ご注意ください。（申請には、予診票兼接種券と印鑑をお持ちください。接種者と窓口に来る人が別の場合、両方の印鑑および窓口に来る人の身分証明書（個人番号カード・運転免許証・健康保険証など）が必要です。）

▶注 意 点 市外にかかりつけ医がいる人や長期入院で市内での接種が困難な人で、市外の医療機関での接種を希望される人は接種前に保健センターへ申請が必要となる場合があります。詳しくは、通知文書をご確認ください。手続きが必要な場合は、予診票兼接種券と接種者本人の印鑑（窓口に来る人が別の人の場合はその人の印鑑も必要）をお持ちのうえ、保健センターでご申請ください。申請後、市外での接種に必要な書類が1週間程度かかるため、再度保健センターに受取りに来ていただく必要があります。

▶問 合 せ 保健センター（☎82-8211）

【インフルエンザ個別予防接種 市内指定医療機関】

医療機関名	所在地	電話	医療機関名	所在地	電話
あいちハートクリニック	東上重原6丁目70番地	91-5810	知立クリニック	ハツ田町神明22番地	82-1367
秋田病院	宝二丁目6番地12	81-2763	知立団地中央診療所	昭和九丁目4番地	81-3405
いわせ外科クリニック	西町新川1番地3	81-3605	知立南皮フ科	東長篠一丁目1番地13	83-2883
大岩内科クリニック	上重原四丁目66番地	85-1177	西中町クリニック	西中町中長1番地1	84-3304
大山クリニック	南陽二丁目48番地	82-0106	富士病院	牛田町西屋敷137番地1	85-1000
おがわ内科・循環器科	谷田町本林一丁目2番地1	81-7011	耳鼻咽喉科まさクリニック	谷田町本林二丁目10番地11	84-3387
かじた子どもクリニック	南新地三丁目6番地17	84-6600	松井医院内科・胃腸科	中山町中山45番地	81-0005
加藤耳鼻咽喉科	南新地三丁目2番地6	81-0632	松井みみはなクリニック	鳥居一丁目12番地13	81-8711
かみやクリニック	弘法町弘法山45番地5	81-0052	水野内科クリニック	池端二丁目17番地	82-8200
栄クリニック	栄一丁目8番地	81-0067	宮谷クリニック・小児科	新池三丁目28番地1	81-0338
新林内科医院	新林町新林40番地6	82-2616	整形外科よしだクリニック	新池一丁目70番地	84-3500
竹内クリニック	上重原町恩田212番地	83-0002			

長引く咳は、結核かも？ 年1回は胸部X線検査を受けましょう

9338)

▼問合せ 衣浦東部保健所 健康支援課地域保健グループ（☎(21) 健

衣浦東部保健所では結核に関する相談・支援をしています。お気軽にご相談ください。



結核予防キャラクター シールぼうや

・乳児には結核の予防接種（BCG）があります。市の案内に従って1歳までに受けましょう。

・年1回は職場健診や住民検診等で胸部X線検査を受けましょう。

・バランスのとれた食事、十分な睡眠、適度な運動等、規則正しい生活を心がけましょう。

・2週間以上の咳や痰等の症状が続く時には必ず病院を受診しましょう。

一方で、働きざかりの世代での発病も依然多くあり、油断は禁物です。結核を予防し、早期発見するためのポイントをご紹介します。

・2週間以上の咳や痰等の症状が続く時には必ず病院を受診しましょう。

衣浦東部保健所管内では、平成29年に新たに56人が結核と診断されました。そのうちの半数以上は70歳以上の高齢者でした。高齢者に結核が多いのは、若い頃に感染した結核菌が、加齢による体力の衰えや免疫力の低下をきっかけに、活動を始めてしまうからだと言われています。

一方で、働きざかりの世代での発病も依然多くあり、油断は禁物です。結核を予防し、早期発見するためのポイントをご紹介します。